

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所
(さともん)

令和3年度(第7期)通常総会議案書

令和3年6月

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所 令和3年度通常総会

開催日時 令和3年6月17日 19時00分から 20時00分まで
場 所 兵庫県篠山市味間新315 さともん事務所

議事次第

- 1 開会
- 2 議長選出
- 3 議案
 - (1) 第1号議案 令和2年度(第6期)事業報告
 - (2) 第2号議案 令和2年度(第6期)活動計算書報告
 - (3) 第3号議案 令和3年度(第7期)事業計画(案)
 - (4) 第4号議案 令和3年度(第7期)活動予算書(案)
 - (5) 第5号議案 第4期役員(案)
 - (6) その他
- 4 閉会

【資料】

- 資料1. 令和2年度事業報告
- 資料2. 令和2年度会計報告
- 資料3. 令和3年度事業計画案
- 資料4. 令和3年度活動予算案
- 資料5. 第4期役員案

令和2年度事業報告書

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

1. 活動の成果

令和2年度は、コロナ禍のなか一部活動が制限されながらも、感染対策に十分配慮しながら、以下の活動を推進しました。(1)「地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業」に関する各市町村からの委託事業を受託したほか、丹波篠山市内において「第3回獣がいフォーラム」のオンライン開催における企画・運営を支援し、高校生をはじめ獣がい対策の新たな担い手育成のための研修会や地域を元気にする前向きな獣がい対策について理念や議論を共有する場づくりを行いました。また、(2)「獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業」と(3)「地域の獣害問題及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業」については、令和2年7月から丹波篠山市獣がい対策推進員(地域再生協働員)2名とともに、主に『獣害から地域を守る』丹波篠山黒豆オーナー」と「川阪オープンフィールド」「鳥害から守るブルーベリーオーナー」などの取り組みを中心に、都市部からの関係人口の創出・拡大に努めました。また、令和2年度から市内の関係人口を創出するために、おとわの森子育てパパフィールドの運営を行いました。(6)里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを題材とした子育て・子育ちを支援する事業として、旧おとわ園(こども園)を活用した子育て支援拠点施設「おとわの森子育てママフィールド」の運営(補助事業)により、豊かな里地里山に恵まれた篠山における子どもの健全育成ならびに多世代交流を促進するとともに、里地里山問題解決のために子育てママや女性の活躍機会を場を促進しました。また、2020年5月には、新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休校措置により、丹波篠山市内で子育て中のご家庭がどのような課題や思いを抱えているかを把握することを目的にWebアンケートを実施し、その結果を踏まえて、丹波篠山市長・教育長に『新型コロナウイルス感染症の危機に対応するための子育て世帯アンケートをふまえた要望書～「ここに住み続けたい」と思える丹波篠山とするために～』を提出した。最後に、(7)人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業として、兵庫県のニホンザル生息数調査(兵庫県から受託)を実施しました。その他では、令和2年10月に代表理事の鈴木克哉が「第5回貝原俊民美しい兵庫づくり賞」を受賞しました。

2. 特定非営利活動に係る事業

(1) 地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業

① サル用電気柵設置事業(岡山県高梁市・大阪府箕面市)

天然記念物「臥牛山のサル」(高梁市)、天然記念物「箕面山サル生息地」(箕面市)のニホンザルによる農作物への食害を防止するための電気柵を設置した。



② 丹波篠山市実施隊支援・強化活動（丹波篠山市有害鳥獣対策推進協議会）

丹波篠山市の3集落において（矢代集落・藤之木集落・黒石集落）、安定かつ継続して被害対策を実施できる体制を整備するために、地域住民が主体となって対策を行うための中心的役割を果たす人材の育成や、地域の体制づくりの支援を目指した。今年度は、集落主体で被害対策に直結する加害個体を捕獲するため以下のとおり対策・捕獲指導・実績を得た。

	矢代集落	藤之木集落	黒石集落
地域との協力体制	調整済	調整済	調整済
地域担当者	小嶋國裕	笠井好彦	大前力
地域担当者経験	狩猟免許・捕獲経験なし	狩猟免許取得済（捕獲経験なし）	狩猟免許取得済（実施隊）
地域担当者の役割	現場確認・餌付け	現場確認・餌付け	現場確認・餌付け
実施隊支援員	川井正幸（NPO 法人里地里山問題研究所）		
支援員の役割	指導・状況確認（センサーカメラ等）	指導・状況確認（センサーカメラ等）	指導・状況確認（センサーカメラ等）
支援日数	360日（4/1～）	360日（4/1～）	360日（4/1～）
捕獲実績	シカ2頭	シカ5頭	シカ1頭
止め刺し	実施隊	実施隊	実施隊
捕獲檻の種類	ホカクラウド	ホカクラウド	かぞえもん

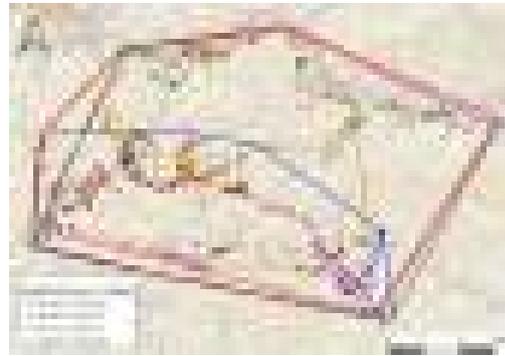
③ 大丹波地域サル対策住民指導および実施隊向け研修および事務局業務（大丹波地域サル対策広域協議会）

大丹波地域管内における住民または行政向け研修会を全18回開催するほか、大丹波地域サル対策広域協議会の会議運営・会計などの事務局業務を受託した。



④ 福知山市サル対策支援（京都府福知山市）

福知山市三和町川合地内において、ニホンザルの生息状況に応じた適切な個体数管理と住民主導型で自主的な被害対策を推進するために、ニホンザル生息状況査のための発信機装着作業、個体数カウント調査、研修会での指導等の業務を実施した。



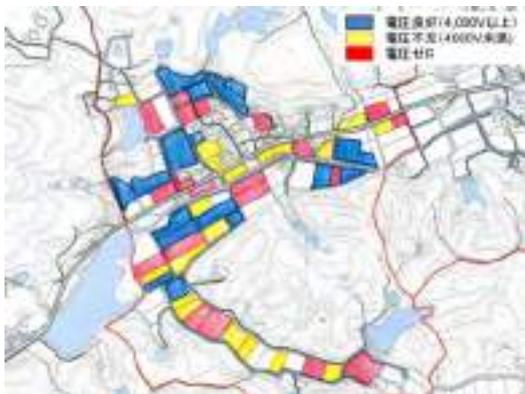
⑤ 綾部市サル対策支援（京都府綾部市）

綾部市内のニホンザル被害に対し、住民主導型で自主的な被害対策およびニホンザルの生息状況に応じた適切な個体数管理に取り組むべく、発信器装着、個体数カウント調査、住民への追い払い指導、捕獲指導、研修会を実施した。



⑥ 鳥獣害対策サポーター派遣事業

丹波篠山市ほか、加東市、新温泉町から鳥獣害対策サポーター派遣事業を受託し、集落の獣害対策推進と活性化にむけた支援を行った。丹波篠山市畑地区では、地域で担い手不足となっている獣害柵点検に、都市部から人材を呼び込みともに点検活動を行う「さく×はた合戦」の企画・運営を支援した。加東市池之内集落ではイノシシ対策の支援を、新温泉町春來集落では、シカ・イノシシ対策の現状と問題点を把握し、地域活性化に向けたクラウドファンディングの企画案を検討した。



(2) 獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業

- ① 獣害対策に先進的に取り組む地域として、他地域での講演および視察対応を行った。
- ② サポーターの確保にむけてWeb ページ、Facebook ページを運営した。
- ③ 情報会員にメルマガ（無料）を発行した。会員数 266 名（2021 年 5 月現在）
- ④ 丹波篠山市獣がいフォーラム・獣がい対策実践塾の運営支援（丹波篠山市）

丹波篠山市内において「第 3 回獣がいフォーラム」の企画・運営を支援し、高校生はじめ獣がい対策の新たな担い手育成のための研修会「獣がい対策実践塾」を実施した。



- ⑤ 代表鈴木克哉が「第 5 回貝原俊民美しい兵庫づくり賞」を受賞（2020 年 10 月）



表彰式の様子



表彰状



推薦していただいた丹波篠山市長に報告

(3) 地域の獣害及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業

地域の獣害発生状況を伝え、守り継承したい里地里山の恵みを都市住民に気軽に体験してもらうために、以下のプロジェクト・イベントを実施した。特に地域支援を行っている安口西・川原地区と川阪集落に対しては、2020年度は1年間で延べ935人の関係人口を創出した。|

① さともんオーナー制度

地域に存在する豊かな「里の恵み（さともん）」を獣害から守り、継承していくためのオーナー制度として、以下を実施し、FBで生育状況や野生動物出没状況を報告した。

A) 鳥害から守るブルーベリーオーナー 20オーナーが参加

場所：futaba café



B) 獣害から地域を守る丹波篠山黒豆オーナー (別紙参照)

57オーナー(口)が参加 5回の現地イベントと3回のオンラインイベントを実施したほか、ボランティアを募集して20回の獣害対策や耕作放棄地有効活用のための活動を行った。現地に対して合計延べ372名の参加を得た。

場所：安口西・川原集落

② 川阪オープンフィールド (別紙参照)

2019年度に新規スタートした川阪オープンフィールド。2020年度は約2週間に一度の頻度で計25回開催。1年間で、都市住民や市内の高校生、さともんスタッフ含めて延べ563名の地域外人材が参加し、遊休農地の有効活用に従事した。

場所：丹波篠山市川阪集落

③おとわの森子育てパパフィールド

1ヶ月に1度の頻度で休日に「おとわの森子育てパパフィールド」を開催し、パパとこどもが一緒になって屋外で自らの手でものづくりをするプログラムを実施した。



(4) 獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業

獣害から守った農産物の販売のほか、サルに効果的な電気柵「おじろ用心棒」ほかの獣害対策資材販売を行った。

(5) 獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業

被害対策・捕獲等の現場にてセンサーカメラを用いて野生動物の行動調査を随時行った。

(6) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業

① 兵庫県ニホンザル研究支援業務（サルカウント調査）

篠山市においてニホンザルの生息数カウント調査を実施した。

(7) 里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを題材とした子育て・子育てを支援する事業

① おとわの森子育てママフィールド事業（市補助事業）

登録者数 670人（5/29現在）

「すべてのママが心ゆるせる仲間と共に自分を磨き、輝くことで自分を大切にでき、子育てを楽しめる社会を目指します」（2020年1月31日作成）を理念に掲げ、①子育てで心ゆるせる仲間を作る ②自分を磨き、笑顔が輝く ③ママが「心の余裕」をもてる地域社会を作ること ミッションとし、シリーズイベント、ツキイチイベント、ツキイチ勉強会、その他イベント、施設一般利用等を行った。2020年度はコロナ禍で感染症対策にも配慮し、オンラインイベント等も企画した。

そのほか2020年5月には、新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休校措置により、丹波篠山市内で子育て中のご家庭がどのような課題や思いを抱えているかを把握することを目的にWebアンケートを実施し、その結果を踏まえて、丹波篠山市長・教育長に『新型コロナウイルス感染症の危機に対応するための子育て世帯アンケートをふまえた要望書～「ここに住み続けたい」と思える丹波篠山とするために～』を提出した。



おとわの森子育てママフィールドの普段の活動の様子



『新型コロナウイルス感染症の危機に対応するための子育て世帯アンケートをふまえた要望書～「ここに住み続けたい」と考える丹波篠山とするために～』を丹波篠山市長・教育長に提出。

3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

①通常総会 令和2年6月30日

議事内容 令和元年度(第5期)事業報告、会計報告
令和2年度(第6期)事業計画案、予算案

②理事会 年2回開催

第1回理事会 令和2年6月28日 18時～20時

議事内容 令和2年度事業計画案、予算案の承認

第2回理事会 令和2年8月28日 17時～19時

議事内容 令和2年度事業進捗状況、

丹波篠山市猷がい対策推進員(地域再生協働員)活動計画

③その他例会 開催なし(コロナ禍により中止)

(2) 会員(令和3年度)

正会員 17名(鈴木克哉、清野未恵子、垣内敬造、山内一隆、中山史夫、長尾勝美、鈴木友美、川井正幸、高根沢均、山端直人、室山泰之、塚本茂、京極暁、山崎義博、香川裕一、榎本拓司、榎木美幸、以上入会順)

賛助会員(団体) 4団体(株式会社末松電子製作所、株式会社ジャパンファースト、株式会社アイエスイー、つむぐの森)



特定非営利活動法人
里地里山問題研究所(さともん)

「獣害から地域を守る」 丹波篠山黒豆オーナー in安口西・川原

2020年度活動報告

さともんでは、丹波篠山市安口西・川原両集落にて2017年より農村と都市が連携し耕作放棄地を黒豆畑の畑に再生するプロジェクト『獣害から地域を守る・丹波篠山黒豆オーナー』を行っています。



◇耕作放棄地で栽培した黒豆を全国のオーナーにお届け



黒豆オーナーになっていただいた方には年4回黒豆を発送。
(①10月中旬の黒枝豆②10月下旬③11月中旬④12月下旬)
それぞれの旬の味を全国のオーナーさまにお届けしました。

◇随時地域や獣がい対策の情報を発信



農作業や地域の様子を遠くのオーナーの皆さんに感じてもらうため、さともんブログやFacebookページで随時情報発信を行いました。

◇コロナ禍でも！オンラインでイベント開催



黒豆オーナーではこれまで、年4回BBQや流しそうめんといったオーナー限定のイベントを行ってきましたが、今年はコロナ禍で断念。代わりに、オンラインでみんなで一緒に枝豆をゆでて食べる「収穫祭」や、黒豆を自宅までお送りし、オンラインで同時進行でみそをつくるイベントを開催しました。

◇オンラインショップも開設



オーナー以外の方(ご友人等)にも黒豆の魅力を伝えました。

◇オーナーの数も増加中！



2018年度 29人
2019年度 40人
2020年度 57人
2021年度は

100人を目指します！

〈2020年度オーナーのみなさんの感想〉

- 家族と一緒に黒豆の苗を植えるところから始まり、様々な農作業を経験させてもらった。黒豆自体もおいしかった。
- 畑で出会った全ての方がとても気さくで優しい方ばかりでした！
- 地域の方と知り合え黒枝豆を生産することが出来るようになった。これはオーナーになってなかったらあり得なかった。たくさんの方と巡り会え、農業の素晴らしさ(大変さ)を味わえ、やってみたいと思うことが出来た。
- 食べるだけではなくそまでの作業や思いを知るとさらにおいしくいただけます。また、食品ロスについても考えがふかまります。高齢化していく農家の問題や後継者問題、日本のこれからの農業について思いが深まりますよ。豊かな自然の中で遊ぶ子どもたちの姿が地元笑顔に届けています。故郷をつくりましょう。
- どの段階の黒豆もおいしく、日々の食卓に黒豆が並びました！焼き枝豆が1番好きです！！

◆2週間に一度の黒豆ボランティア作業

開催日	参加人数(大人)			計	
	一般	さともん	地域	地域外	総数
4月4日	9	3	2	12	14
4月11日	3	2	1	5	6
6月17日	3	4		7	7
7月11日	5	2		7	7
7月18日	2	3		5	5
7月26日	6	5		11	11
8月2日	2	5		7	7
8月8日	14	4	1	18	19
8月22日	5	4	1	9	10
9月5日	4	5	1	9	10
9月19日	4	3	1	7	8
10月17日	3	4	1	7	8
10月24日	4	3		7	7
11月14日	4	5		9	9
11月22日					7
12月6日					11
12月20日					9
2月6日					11
2月20日					16
3月27日	4	3	1	7	8
延べ人数	100	75	11	175	190
平均	5.3	3.9	0.6		

昨年度(113人)比
1.54倍



黒豆ボランティア作業を約2週間に1回の頻度で開催。黒豆オーナーになっていただいた人や農作業に興味のある人、さともんインターン生らが参加し、みんなで一緒に黒豆畑の管理や放棄地の整備、山のわち刈りといった作業を行いました。集落の河川の清掃活動にも数名参加。昨年度は獣害防護柵の補修作業を行っており、今後さらに地域に貢献できるような活動をしていきたいと考えています。

◇空き家となった家を活用し地域の交流拠点づくり



オーナー畑のある丹波篠山市安口集落で空き家となってしまった家を、都市部から来た方々との交流拠点として活用することに。今年は休憩所や話し合いの場として利用、お正月には門松も飾りました。

◇黒豆オーナーからステップアップ



昨年度よりオーナーになっていただいている大阪在住のお二人が、ステップアップして黒豆の栽培に本格チャレンジすることになりました。以前から積極的に「黒豆ボランティア」等に参加いただいていたが、今年度はボランティア以外にも篠山に来られ栽培を学んでおられます。栽培の師匠となるのはさともんもお世話になっている地域の農家の方。2021年度には共同で黒豆の栽培から販売までを行われる予定です。今後の活躍に注目です！



川阪オープンフィールド



Kawasaki Open Field

◆2020年度報告◆

昨年に引き続き、今年度も2週に一度のペースで計25回都市住民と一緒に作業を行ってきました。今年度は新型コロナの影響もあり、一時活動を自粛していた期間もありましたが、地域外参加人数は前年に比べて約2倍である延べ398名の方に参加していただきました。また、今年度は特に子どもたちの参加が多く、子どもを含めると述べ人数で643名もの方が参加していただきました！

川阪OPF2020年度参加記録

開催日	参加人数(大人)			子ども		計	
	一般	さともん	地域	一般	地域外	総数	
4月11日	3	3	4	0	6	10	
5月7日	10	2	4	4	16	20	
6月14日	6	2	4	0	8	12	
6月20日	20	1	3	15	36	39	
6月21日	20	1	3	3	24	27	
7月5日	7	2	3	6	15	18	
7月18日	7	5	3	5	17	20	
8月10日	6	3	3	7	16	19	
8月23日	8	5	3	4	17	20	
9月6日	3	4	3	2	9	12	
9月12日	36	7	3	19	62	65	
9月27日	7	2	3	2	11	14	
10月4日	12	5	3	6	23	26	
10月10日	14	5	3	6	25	28	
10月31日	8	5	3	5	18	21	
11月15日	9	5	3	9	23	26	
11月29日	11	5	3	6	22	25	
12月12日	14	5	3	10	29	32	
12月26日	13	5	3	12	30	33	
1月16日	8	5	3	4	17	20	
1月31日	15	5	3	8	28	31	
2月14日	19	7	3	12	38	41	
2月28日	12	5	3	9	26	29	
3月14日	22	6	3	11	39	42	
3月28日	3	5	5	0	8	13	
延べ人数	293	105	80	165	503	643	
平均	11.7	4.2	3.2	6.6	22.5	25.7	

田植え



昨年は自粛の影響で、地元とスタッフのみの参加でした。

夏野菜収穫



川遊び



みんなで話し合い



稲刈り



70名近くの方に参加していただき、無農薬・天日干しのお米を作りました！

トラクター購入を目指した クラウドファンディング(資金調達)



20歳以下人口ゼロの集落をみんなのふるさとに！一ホタルと輪しをこどもたちへー



525,000円

56人

13日

・川阪OPFではトラクター購入を目指して都市部やその他の地域の方から購入資金を募っています。
現在、**目標であった50万円**を集めることが出来ました！

丹波新聞にも掲載していただきました！

残り2週間程期間があるので、今後はトラクターのアタッチメント購入を目指していきます。



■ 昨年の秋～冬にかけての活動風景

秋から冬にかけては、黒枝豆の収穫・販売やミツバチの巣箱づくり、ダイコンなどの冬野菜を作りました！



川阪OPFのこれから

川阪OPFは参加してくださる方も徐々に増えてきて、とても活気ある活動になりつつあります。しかし、2週に一度の活動では、野菜の手入れや畑の整備など追いつかない部分があることも事実です。そのあたりを今後解消していくためにも、地元の方々とも一緒に活動していきたいと考えています。これからも、さらなる遊休農地活用や集落活動のお手伝いに向けて活動を続けていきます。そして、川阪での取り組みが同じ悩みを抱えているあらゆる集落に広がっていくことを目指しています！

令和2年度 特定非営利活動に係る活動計算書

自 令和2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

科目	金額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
	205,000	
会費収入計		205,000
2 事業収益		
(1) 獣害対策及び里地里山保全活動支援事業(注1)		
電気柵設置支援業務	5,512,067	
丹波篠山市獣がい対策支援関連業務	1,080,000	
大丹波応域協議会支援業務	886,600	
鳥獣害対策サポーター派遣業務	2,687,300	
綾部市サル対策支援業務	1,062,930	
京丹波町サル対策支援業務	1,998,700	
福知山市サル対策支援業務	1,023,000	
伊根町獣害対策支援	200,000	
サルイチ保守契約	792,000	
小計	15,242,597	
(2) 里山問題取り組み等の発信事業(注2)		
外部講演	1,255,238	
その他	53,392	
小計	1,308,630	
(3) イベント等の交流運営事業(注3)		
BBオーナー制度参加料収益	180,000	
黒豆オーナー制度参加料収益	804,000	
小計	984,000	
(4) 獣害対策商品及び農産物等の販売事業(注4)		
農産物・加工品等販売収益	408,455	
獣害対策商品販売等収益	1,765,386	
小計	2,173,841	
(5) 獣害解決等の研究開発事業(注5)		
	0	
(6) 人と野生動物共生社会の実現事業(注6)		
兵庫県森林動物	1,782,000	
(7) 子育て・子育て等交流運営事業		
petit prix委託収益(篠山市)	8,150,000	
施設管理収益	447,000	
イベント収益その他	94,210	
小計	8,691,210	
事業収益計		30,182,278
3 受取助成金等		
助成金	1,007,500	
受取助成金等計		1,007,500
4 受取寄付金等		
(1) 寄付金	11,000	
(3) 受取利息	45	
(4) 雑収入	303,086	
受取寄付金等計		314,131
経常収益合計		31,708,909
II 経常費用		
1 事業費		
人件費		
給与手当	5,897,125	
法定福利費	405,682	
福利厚生費	27,580	
人件費計	6,330,387	
その他経費		
商品仕入高	2,926,717	
外注費	383,760	

	交際費	11,704		
	会議費	546		
	旅費交通費	672,438		
	諸謝金	740,647		
	食材費	43,357		
	消耗品費	1,563,965		
	事務用品費	57,859		
	支払手数料	1,709,072		
	保険料	18,738		
	研修費	16,500		
	委託費	574,043		
	通信費	33,776		
	雑費	642		
	その他経費計	8,753,764		
	事業費計		15,084,151	
2 管理費				
	人件費			
	役員報酬	3,600,000		
	給与手当	4,631,527		
	雑給	364,432		
	法定福利費	647,059		
	福利厚生費	84,160		
	人件費計	9,327,178		
	その他経費			
	広告宣伝費	21,412		
	交際費	11,160		
	会議費	13,905		
	旅費交通費	740,662		
	外注費	0		
	諸謝金	7,500		
	食材費	12,515		
	消耗品費	747,777		
	修繕費	672,100		
	水道光熱費	127,598		
	新聞図書費	14,475		
	諸会費	52,100		
	支払手数料	1,108,498		
	地代家賃	320,054		
	保険料	304,655		
	租税公課	1,026,600		
	委託費	150,000		
	研修費	27,636		
	減価償却費	1,146,220		
	車両費	75,000		
	通信費	285,273		
	雑費	7,680		
	その他経費計	6,872,820		
	管理費計		16,199,998	
	経常費用計			31,284,149
	経常差益			424,760
III 経常外収益				
	経常外収益合計		0	
IV 経常外費用				
	経常外費用合計		0	
	税引前当期正味財産増加額			424,760
	法人税・住民税及び事業税			110,104
	当期正味財産増加額			314,656
	前期繰越正味財産			39,352
	次期繰越正味財産			354,008

※注

- (注1) 地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業
(注2) 獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業
(注3) 地域の獣害及び里地里山の愚みをつらぬくための交流を促すためのイベント、ツアー、交流施設等の運営に関する事業
(注4) 獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業
(注5) 獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業
(注6) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業

財務諸表の注記

1.重要な会計方針

財務諸表の作成はNPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月21日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は定率法を採用しております。

無形固定資産は定額法を採用しております。

(2)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入は、活動計算書に計上します。

また計上額の算定方法は「3.施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載することとしており

(3)ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は「4.活動の減価の算定にあたって

必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記することとしております。

2.事業費の内訳

別 紙

3.施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

当期は施設の提供等の物的サービスの受入はありませんでした。

4.活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

当期は活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供はありませんでした。

5.使途が制約された寄附金等の内訳

使途が制約された寄附金等は有りませんでした。

6.固定資産の増減の内訳

勘定科目名称	細目	取得価額	期首簿価	当期取得	当期減少	当期償却	期末簿価	償却累計額
車両運搬具	サンバー	439,900		439,900		293,266	146,634	293,266
什器備品	プロジェクター	159,980	15,551	0	0	15,550	1	159,979
什器備品	殺菌庫	390,000		390,000		113,750	276,250	113,750
少額減価償却資産	PC他3件	723,654		723,654		723,654	0	—
合 計		1,713,534	15,551	1,553,554	0	1,146,220	422,885	566,995

(法第28条第1項関係様式例、報告式)

令和2年度特定非営利活動事業に係る会計貸借対照表

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
(現金・預金)		
現金	89,812	
普通預金	3,853,700	
現金・預金 計		3,943,512
(その他流動資産)		
未収入金	9,638,622	
前払費用	8,820	
その他流動資産 計		9,647,442
流動資産合計		13,590,954
2 固定資産		
(有形固定資産)		
車両運搬具	146,634	
什器備品	276,251	
有形固定資産 計		422,885
(無形固定資産)		
無形固定資産 計		0
(投資その他の資産)		
差入保証金	60,000	
投資その他の資産 計		60,000
固定資産合計		482,885
3 繰延資産		
繰延資産 計		0
資産の部合計		14,073,839
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	3,695,687	
未払法人税等	110,100	
未払消費税等	385,600	
預り金	135,016	
流動負債 計		4,326,403
2 固定負債		
長期借入金	9,393,428	
固定負債 計		9,393,428
負債の部合計		13,719,831
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		39,352
当期正味財産増加額		314,656
正味財産の部合計		354,008
負債及び正味財産合計		14,073,839

財 産 目 録

特定非営利活動法人 聖地聖山問題研究会

令和 3年 3月31日 現在

目 目	金 額	(単位:円)
I 資産の部		
流動資産		
(現金・預金)		
手許現金	69,812	
普通預金		
三井住友銀行	2,083,185	
よこすか銀行	183,490	
山形県信用金庫	986,623	
普通預金計	3,853,300	
現金・預金計	3,923,112	
(その他流動資産)		
未収入金	9,618,622	
前払費用	3,020	
その他流動資産計	9,621,642	
流動資産合計	13,544,754	
固定資産		
(有形固定資産)		
車力運搬具	146,634	
什器備品	276,351	
什器備品計	422,985	
有形固定資産計	422,985	
(無形固定資産)		
無形固定資産計	0	
(投資その他の資産)		
未払戻金	60,000	
投資その他の資産計	60,000	
固定資産合計	482,985	
繰延資産		
繰延資産計	0	
繰延資産合計	0	
資産の部合計		14,027,739
II 負債の部		
【流動負債】		
未払法人税等		
消費税等	385,000	
法人税	54,000	
地方法人税	3,500	
法人住民税	22,000	
法人市民税	50,000	
未払金計	494,500	
未払金		
滞経費未払金	2,176,898	
未払3月分給与	1,519,749	
未払金計	3,696,647	
預り金		
遊歩券預金	131,216	
住民税	23,500	
預り金計	154,716	
流動負債合計		4,325,863
【固定負債】		
長期借入金		
役員借入金	5,940,428	
日本金融政策公庫	3,970,000	
日本金融政策公庫	156,000	
長期借入金計	10,066,428	
固定負債合計		10,066,428
負債の部合計		14,392,291
III 正味財産の部		
【正味財産】		
前期繰越正味財産	39,352	
当期末正味財産増加額	314,656	
正味財産の部合計		354,008

これは当法人の財産目録である。

令和 3年 5月 29日

特定非営利活動法人 聖地聖山問題研究会

理事長

鈴木克哉



《 科 目 内 訳 書 》

現金		89,812	
普通預金	三井住友銀行	2,683,185	
	ゆうちょ銀行	183,890	
	中兵庫信用金庫	986,625	
	計	3,853,700	
未収入金	伊根町 システム保守	396,000	
	伊根町野生鳥獣被害対策運営協議会	200,000	
	京丹波町 ニホンザル生息調査・対策支	1,998,700	
	福知山市 ニホンザル生息調査・対策支	1,023,000	
	丹波篠山市 鳥獣対策サポーター派遣支	1,602,700	
	丹波篠山市 地域再生委協働員マネージメ	180,000	
	丹波篠山市 助成金	100,000	
	綾部市 ニホンザル被害防除	1,062,930	
	綾部市 獣害対策商品販売代金	110,000	
	綾部市 獣害対策講演料	161,700	
	大丹波地域サル対策広域協議会事務委託	886,600	
	新温泉町	644,600	
	加東市 鳥獣対策サポーター派遣支援業	440,000	
	大丹波地域サル対策広域協議会	396,000	
	兵庫県但馬県民局 パワーアップ助成金	383,000	
	一社)ニホンザル管理協会	53,392	
	計	9,638,622	
前払費用	リサイクル預託金	8,820	
未払法人税等	消費税等	362,500	
	法人税	34,600	
	地方法人税	3,500	
	法人県民税	22,000	
	法人市民税	50,000	
計	472,600		
未払金	未払諸経費	2,175,938	
	給与手当	3月分	1,519,749
	計	3,695,687	
預り金	源泉所得税	101,216	
	住民税	33,800	
	計	135,016	
長期借入金	鈴木克哉	役員借入	5,943,428
	日本政策金融公庫	当初借入額:850万円	2,970,000
	日本政策金融公庫	当初借入額:150万円	480,000
	計	9,393,428	
会費収入	正会員	205,000	
	計	205,000	

監査報告書

令和3年6月24日

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所
代表理事 鈴木 克哉 殿

監事 江原美



私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人 里地里山問題研究所の令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日）の業務監査および会計監査を行った。

業務監査（理事の業務執行の状況に関する監査）に当たっては、理事会他の会議に出席または資料確認をし、必要と認められる場合には質問を行い、意見を表明した。

会計監査（財産の状況に関する監査）に当たっては、財産の実在性を中心に、簿簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問等を行った。

これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理はNPO会計基準及び一般に公认妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記期間にかかる事業報告書が、同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が令和3年3月31日における財産の状況を適正に示しているものと認める。

以上

令和3年度事業計画書

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

1. 基本方針

令和3年度は、(1) 獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業」に関する各市町村からの委託事業を予定するほか、丹波篠山市内で4つ程度の地域で、獣害対策をきっかけにした地域活性化およびそれを支える関係人口拡大にむけた事業を行います。また、(2) 「獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業」と(3) 「地域の獣害問題及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業」について、実施内容や回数、エリアをさらに拡大し、都市部からの支援者の獲得に努めます。また、本年度も、丹波篠山市内で「第4回獣がい対策実践塾」「第4回獣がいフォーラム」の企画・運営に協力し、高校生をはじめ獣がい対策の新たな担い手育成のための研修会や地域を元気にする前向きな獣がい対策について理念や議論を共有する場づくりを行うほか、視察やインターンの受け入れも行う予定です。また大山小学校の依頼を受け、ふるさと教育で栽培するスイカを鳥獣から守るプロジェクトを行います。(4) 獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業については、サル位置情報配信システム「サルイチ」の特徴や効果的な活用方法をWeb上で案内し、サルイチを導入して対策を効果的に進めるため市町村の拡大を目指します。(5) 獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業として、ICT等を活用して地域の獣害対策を効果的に進める行政支援ツールの開発や、ネガティブな獣害を逆手にとった地域活性化手法について検討します。(6) 里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを題材とした子育て・子育てを支援する事業として、旧おとわ園(こども園)を活用した子育て支援拠点施設「おとわの森子育てフィールド」の運営(補助事業)により、豊かな里地里山に恵まれた篠山における子どもの健全育成ならびに多世代交流を促進するとともに、里地里山問題解決のために子育てママや女性の活躍機会の場を促進します。また、おとわの森子育てファミリーフィールドを運営し、丹波篠山市内の子育て家族が森や自然に親しみながらものづくりを体験する場を提供します。最後に、(7) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業として、生態学および社会学的な基礎調査にも取り組んでいきます。

2. 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	プロジェクト内容	実施月 実施回数	実施場所	対象者
(1) 地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業	安価な防護柵設置支援	随時	丹波篠山市内	丹波篠山市民
	丹波篠山市獣がい対策支援業務(アドバイザー・実施隊支援・サポーター派遣事業等)	随時	丹波篠山市内	丹波篠山市民
	大丹波地域サル対策広域協議会事業(出前講座・実施隊向け研修会・事務局業務)	10回	丹波篠山・丹波・福知山・京丹波・南丹	管内住民
	高梁市食害防止電気柵設置事業	11月	高梁市内	高梁市民

	綾部市サル対策支援業務	随時	綾部市内	綾部市民
	福知山市サル対策支援業務	随時	福知山市内	福知山市民
	京丹波町サル対策支援業務	随時	京丹波町内	升谷集落住民
	新温泉町春来支援（クラウドファンディング）	随時	新温泉町春来	春来住民 その他
（２）獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業	獣がいフォーラム 第４回	年１回	丹波篠山市内	100名/回
	獣がい対策実践塾	年８回	丹波篠山市内	丹波篠山市民・高校生・一般市民 20人/回
	視察受入・外部講演	年３回	丹波篠山市内・市外	—
	情報発信事業（FB, メルマガ運営, Web サイト）	随時	法人事務所	—
	パンフレット更新	随時	法人事務局	—
（３）地域の獣害及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業	川阪集落：川阪オープンフィールド（３期）	隔週	丹波篠山市内（川阪）	都市住民現地参加 延べ700名
	ブルーベリーオーナー（５期）	随時	丹波篠山市内（futaba cafe）	都市住民20名
	安口西集落：黒豆オーナー（５期）・関係人口拡大プロジェクト	隔週	丹波篠山市（安口・川原）	オーナー100名 ボランティア 延べ150名
（４）獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業	獣害対策商品の販売	随時	法人事務所	一般市民
	獣害から守った農産物販売	随時	Web サイト	一般市民
	獣害から守った農産物を用いたレシピ紹介	随時	Web サイト	一般市民
（５）獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業	・行政支援ツールの開発・獣害を逆手にとった地域活性化手法 ・柿等の放任果樹有効活用	随時	法人事務所	—
（６）里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを	おとわの森子育てフィールド運営事業（補助事業）ママのための癒しの場	週５日開園	丹波篠山市内（旧おとわ園）	子育て世代（丹波篠山市内外）

題材とした子育て・子育てを支援する事業	子育てママのキャリアデザイン支援 (petit prix 施設利用)	随時	丹波篠山市内 (旧おとわ園)	子育て世代 (丹波篠山市 内外)
	豊かな環境を活かした子育て・子育て支援 (おとわの森子育てファミリーフィールド等)	随時	丹波篠山市内 (旧おとわ園)	子育て世代 (丹波篠山市 内外)
	ささっこあおぞら広場との連携	随時	丹波篠山市内 (旧おとわ園)	子育て世代 (丹波篠山市 内外)
(7) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業	サル個体数カウント調査	随時	丹波篠山市内 ほか	—
	獣害から守り伝えたい地域の「想い」を綴る聞き書き調査冊子化の検討	随時	丹波篠山市内	丹波篠山市民 10 数名
	ネットワーク化に向けた他地域の取り組み状況の把握・文献調査	随時	法人事務所	不特定多数
(8) 農山漁村の振興に貢献する事業				

3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

- ①通常総会 2021年6月25日(予定)
- ②理事会 年4回(予定)

令和3年度 特定非営利活動に係る活動予算書

自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

科目	金額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員	54,000	
賛助会員	200,000	
会費収入計		254,000
2 事業収益		
(1) 獣害対策及び里地里山保全活動支援事業(注1)		
高梁市食害防止電気柵設置等	4,000,000	
大丹波サル広域協議会関連事業	1,296,000	
丹波篠山市獣がい対策推進関連事業	7,950,000	
綾部市サル対策支援事業	1,316,000	
福知山市サル対策住民支援業務	936,000	
京丹波町サル対策住民支援業務	980,000	
その他受託業務	1,000,000	
小計	17,478,000	
(2) 里山問題取り組み等の発信事業(注2)		
獣害対策研修会	860,000	
視察受入料収益	100,000	
小計	960,000	
(3) イベント等の交流運営事業(注3)		
さともんオーナー制度参加料収益	1,440,000	
イベント参加収益	150,000	
小計	1,590,000	
(4) 獣害対策商品及び農産物等の販売事業(注4)		
農産物・加工品等販売収益	400,000	
獣害対策商品販売等収益	500,000	
小計	900,000	
(5) 獣害解決等の研究開発事業(注5)		
	0	
(6) 人と野生動物共生社会の実現事業(注6)		
サルカウント調査受託収益	1,700,000	
(7) 子育て・子育て等交流運営事業		
おとわの森子育てママフィールド運営事業	8,150,000	
事業収益計		30,778,000
3 受取助成金等		
助成金	1,000,000	
受取助成金等計		1,000,000
4 受取寄付金等		
(1) 寄付金	800,000	
(2) 定例会収益	0	
(3) 受取利息	100	
(4) 雑収入	0	
受取寄付金等計		800,100
経常収益合計		32,832,100
II 経常費用		
1 事業費		
人件費		
給与手当	6,000,000	
法定福利費	500,000	
福利厚生費	30,000	
人件費計	6,530,000	
その他経費		
商品仕入高	3,000,000	
外注費	400,000	
広告宣伝費	50,000	
交際費	20,000	

	会議費	5,000		
	旅費交通費	1,000,000		
	諸謝金	1,500,000		
	食材費	200,000		
	消耗品費	1,600,000		
	事務用品費	60,000		
	支払手数料	500,000		
	賃借料	200,000		
	保険料	30,000		
	研修費	30,000		
	委託費	1,000,000		
	通信費	50,000		
	雑費	30,000		
	その他経費計	9,675,000		
	事業費計		16,205,000	
2 管理費	人件費			
	役員報酬	3,600,000		
	給与手当	4,700,000		
	雑給	400,000		
	法定福利費	650,000		
	福利厚生費	100,000		
	人件費計	9,450,000		
	その他経費			
	広告宣伝費	360,000		
	交際費	15,000		
	会議費	50,000		
	旅費交通費	800,000		
	消耗品費	800,000		
	修繕費	100,000		
	水道光熱費	150,000		
	新聞図書費	30,000		
	諸会費	50,000		
	支払手数料	1,200,000		
	地代家賃	320,000		
	保険料	300,000		
	租税公課	1,200,000		
	研修費	30,000		
	支払報酬料	350,000		
	研修費	50,000		
	減価償却費	1,000,000		
	通信費	300,000		
	雑費	10,000		
	その他経費計	6,755,000		
	管理費計		16,205,000	
	経常費用計			32,410,000
	経常差益			422,100
III 経常外収益	経常外収益合計		0	
IV 経常外費用	経常外費用合計		0	
	税引前当期正味財産増加額			422,100
	法人税・住民税及び事業税			120,000
	当期正味財産増加額			302,100
	前期繰越正味財産			354,008
	次期繰越正味財産			656,108

※注

- (注1) 地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業
(注2) 獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業
(注3) 地域の獣害及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業
(注4) 獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業
(注5) 獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業
(注6) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業

第4期（R3～4年度）役員（案）

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

第4期の役員（R3-4年度）を以下の通り6名に変更とする

役名	ふりがな 氏名	住所又は居所	報酬の有無
代表理事	すずき かつや	兵庫県丹波篠山市大沢新144番地2	有
	鈴木 克哉		
理事 (副代表理事)	きよの みえこ	兵庫県神戸市中央区生田町3-3-1-907	無
	清野 未恵子		
理事	かきうち けいぞう	兵庫県丹波篠山市小立182番地1	無
	垣内 敬造		
理事	たかねざわ ひとし	兵庫県西宮市上甲子園1-2-23ルモン上甲子園 301号室	無
	高根沢 均		
理事	かわい まさゆき	兵庫県丹波篠山市西新町305番	無
	川井 正幸		
監事	つじ なおみ	兵庫県宝塚市栄町2丁目1番1-E-603号	無
	辻 直美		